

PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会

JESCO北九州・大阪・豊田事業所の解体撤去の実施状況

令和7年3月14日

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

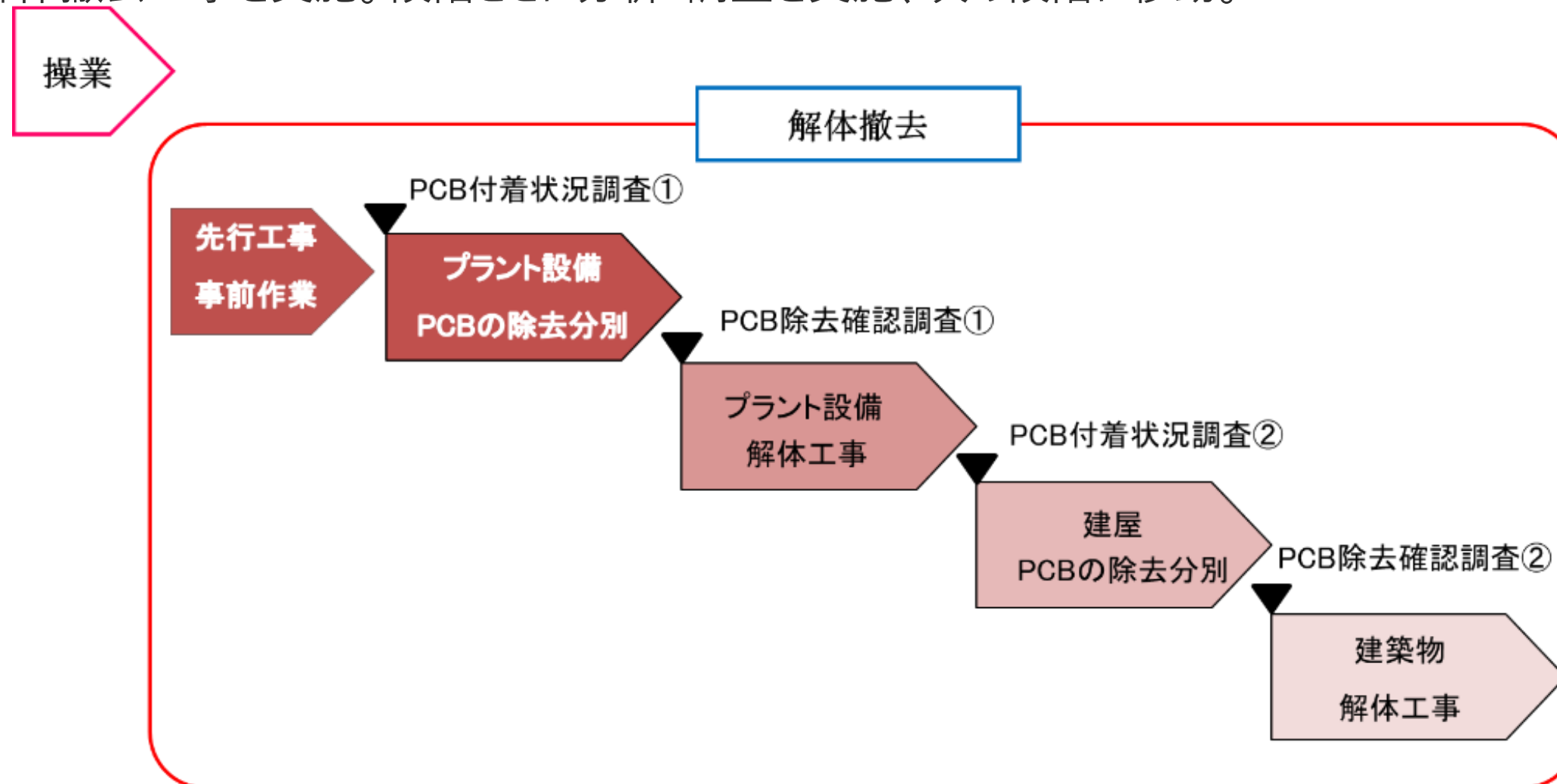
【JESCO施設】 基本的な考え方と解体撤去の流れ

◆ 基本的な考え方（基本方針）

環境の保全の徹底、工事における万全な安全衛生の確保、ステークホルダー等の理解と信頼の確保のための情報共有・公開

◆ 解体撤去の流れ

段階的に解体撤去を実施。先行工事・事前作業、プラント設備や建築物ごとに、PCBの除去分別を実施したのちに解体撤去工事を実施。段階ごとに分析・調査を実施、次の段階に移動。



※PCB除去分別：設備、機器等に残存あるいは付着している高濃度PCBを洗浄、拭き取り等により取り除く作業。

【北九州】 1 期建屋のPCBの除去分別、

2 期プラント設備事前作業・PCBの除去分別

1期施設は、建屋のPCBの除去分別を実施している。排気中のPCB濃度は、北九州市との協定値以下で、通常の操業時と比べても変わっていない。

2期施設は、液抜き・洗浄、配管等のPCBの除去分別を実施している。

【1期施設】

- 対象：1期施設の地上部分。地表面の土間、杭等の地下工作物は残置し、将来的に、2期施設の建屋解体撤去工事と併せて実施。
- 時期

項目		令和6年度				令和7年度				令和8年度			
建屋解体撤去	除去分別												
	解体撤去工事												

- 管理レベル：レベルII（低濃度付着レベル、作業環境濃度10μg/m³以下）
- PCB排気：0.000001mg/m³N未満（市協定値0.005mg/m³N）
 （参考）操業時のPCB排気 0.000022mg/m³以下（H30～R元年）
- PCB作業環境： 0.17未満～0.29μg/m³（作業環境管理濃度10μg/m³）
- PCB付着量：0.5未満～230mg/kg（含有量試験）
 → 工事着手基準20mg/kg以下（含有量試験）を目指して、PCBの除去分別（床のはつり、壁・天井の表面除去）を実施する

【北九州】 1 期建屋の除去分別

PCBが付着している床をはつり、壁・天井の表面を取り除いた。



一次洗浄室

【大阪】 先行工事

小型解体室の解体撤去を実施し、現在は、大型解体室の解体撤去を実施している。排気中のPCB濃度は、管理目標値以下で、通常の操業時と比べても変わっていない。

■ 対象・時期

設備	工期	重量 (ton)
小型解体室 (その1)	R4年3～6月	16.7
小型解体室 (その2)	R6年2～5月	76
大型解体室	R6年9月～R7年3月	177

■ 管理レベル：レベルII（低濃度付着レベル、作業環境濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）

■ PCB排気： $0.0000024\sim 0.000011\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ 未満（自主管理目標値 $0.01\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ ）
（参考）操業時のPCB排気 $0.0000037\sim 0.00017\text{mg}/\text{m}^3$ 以下（H19～H21年）

■ PCB作業環境： 0.8 未満 $\sim 4\mu\text{g}/\text{m}^3$ （作業環境管理濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

■ PCB付着量： $0.3\sim 140\mu\text{g}/100\text{cm}^2$ （2カ所のみ、 $250\mu\text{g}/100\text{cm}^2$ 及び $380\mu\text{g}/100\text{cm}^2$ ）

（解体着手基準：拭き取り試験 $200\mu\text{g}/100\text{cm}^2$ 、最大 $1,000\mu\text{g}/100\text{cm}^2$ ）

【大阪】 先行工事

エリア内の様々な設備を撤去した。



上下とも小型解体室

【豊田】 先行工事

コンデンサー自動解体ラインの解体撤去を実施した。管理レベルIIIとして、解体撤去マニュアルに定める高濃度PCB付着レベルでの保護具の着用等の対策を実施した。排気中のPCB濃度は、管理目標値以下で、通常の操業時と比べても変わらなかった。工程を見直して、今後「トランス解体エリア等のその他高濃度エリア」の解体撤去を実施する予定である。

- 対象：約80t
- 時期：令和5年4月～令和6年7月
- 管理レベル：レベルIII（高濃度付着レベル、作業環境濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上）
- PCB排気： $0.001\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ 未満（管理目標値 $0.01\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ ）

（参考）操業時のPCB排気 $0.001\text{mg}/\text{m}^3$ 以下（R5年）

- PCB作業環境： $3.8\sim 193\mu\text{g}/\text{m}^3$ （作業環境管理濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）
- PCB付着量： $190\sim 140,000\mu\text{g} / 100\text{cm}^2$

（解体着手基準：拭き取り試験 $200\mu\text{g} / 100\text{cm}^2$ 、最大 $1,000\mu\text{g} / 100\text{cm}^2$ ）

※解体着手基準を上回り、かつ、作業環境管理濃度も $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上であるため、解体撤去マニュアルに基づき管理レベルIIIとした

【豊田】 先行工事

ステンレスで囲まれたフード内にある様々な設備を撤去した。

